

再生可能エネルギーの導入を通じた農山漁村の活性化推進事業 活動報告会 農林漁業における再生可能エネルギー 導入促進に向けて

昨年に続き、弊社 株式会社日本能率協会コンサルティングが今年度実施して参りました農林漁業における再生可能エネルギー導入促進に向けた取り組みについて、以下のとおり活動報告会を開催いたします。

本活動の具体的な取り組み内容に加え、先導的な事例について推進者を講演者としてお招きし、ご紹介いただきます。ぜひ、ご関係者の方お誘いあわせの上お申し込みください。

皆様のご参加をお待ちしております。

日時：2020年3月6日(金)
14:00~17:00 (13:30受付開始)

会場：AP虎ノ門 11階 C+Dルーム

定員：100名

参加費：無料

対象者：再生可能エネルギーに興味をお持ちの

- ・農林漁業従事者・関連団体・生産法人
- ・自治体・民間企業



プログラム (敬称略)

13:30~14:00	受付開始
14:00~14:10	主催者あいさつ
14:10~14:25	総合的な再生可能エネルギーの活用へ向けた国の取り組みについて (農林水産省)
14:25~15:05	再生可能エネルギーの導入を通じた農山漁村の活性化推進事業について (日本能率協会コンサルティング)
15:05~15:15	休憩
15:15~16:45	先導的取り組み事例のご講演 ・地元酪農業を支える町営バイオガスプラント (興部町役場) ・もみ殻のエネルギー活用と資源循環型農業への取組み (射水市役所) ・工場排熱を活用したキジハタの陸上養殖 (三光株式会社)
16:30~17:00	おわりに
17:00	閉会

プログラムは予告なしに変更することがあります。予めご了承ください。

お問合せ先 energy_jmac@jmac.co.jp

JMAC

先導的取り組み事例のご講演

地元酪農業を支える町営バイオガスプラント

北海道興部町役場 産業振興課産業振興係バイオマス事業推進室 安東 貴史 氏

町内の酪農家から収集した家畜ふん尿を原料に消化液や敷料を利用農家に還元。さらに発生するバイオガスは電気や熱エネルギーとして有効活用。町内の資源・エネルギーの循環利用と産業振興に取り組む。

もみ殻のエネルギー活用と資源循環型農業への取り組み

富山県射水市役所 産業経済部 次長 竹内 美樹 氏

稲作で大量に発生するもみ殻の処理方法として、燃烧エネルギーの有効利用と燃烧灰をシリカ肥料とする2つの機能を持った設備を産学官連携で開発。熱はイチゴ栽培の暖房に利用し資源循環型農業を目指している。

工場排熱を活用したキジハタの陸上養殖

三光株式会社 代表取締役 三輪 昌輝 氏

産業廃棄物の処理工場から出る排熱を利用して海水温を約25度に保ち、キジハタ5,000匹を養殖し、地元や東京の飲食店に販売している。

お申し込み方法

右のQRコードからお申込みサイトへアクセスしていただき、必要事項を入力のうえお申込みください。

※読み込めない場合は以下のURLを直接ブラウザにご入力ください。

https://eipo.jp/energy_jmac_event/seminars/view/30972



【注意事項】

- ・必ず参加者様ごとにお申込みください。お一人で複数人分のお申込みはできません。
- ・参加キャンセルは、ご自身で行っていただく必要がございます。キャンセル方法はお申し込み時に送信されるメールをご覧ください。

【お問合せ先】 株式会社日本能率協会コンサルティング

TEL.080-3258-0696 mail:energy_jmac@jmac.co.jp
URL : <http://www.jmac.co.jp/column/industry/energy/>

